

越のルビー

(生産振興課)

1 「越のルビー」とは

「越のルビー」は、福井県内で生産されるミディトマトのブランド名です。

このブランド名のもととなっている品種「越のルビー」は、福井県立短期大学（現福井県立大学）で育成されました。果実が鮮やかな紅色であることから、福井県出身の芥川賞作家津村節子さんが命名され、平成4年に品種登録されました。

大玉トマトとミニトマトの中間（ミディ）の大きさで、大玉トマトと比較すると甘みが強いのが特長です。



(1) 概要

① 県内の主な生産地

・福井市、あわら市、高浜町を中心に県下全域で生産されています。

② 生産量と主な出荷先

・栽培面積は約9 haで、年間約150 t生産されています。

・出荷量のうち県内市場に約70%が出荷され、大阪をはじめとする県外にも出荷されています。

(2) 現在の取組み

① 栽培体系

主に、春に植え付け6～7月に収穫する作型と、初夏に植え付け9～11月に収穫する作型で生産されています。

(3) 新たな展開

① 年間を通じた生産体制の整備

これまで、生産量が少なかった冬～初夏の出荷を本格的に行うため、周年生産が可能な大規模施設の整備を進めており、年間を通じて「越のルビー」が供給できる生産体制を整えます。